

第 72 期

令和 6 年度 事業報告書

令和 6 年 4 月 1 日から
令和 7 年 3 月 31 日まで

福島県郡山市駅前一丁目 1 番 17 号
公益財団法人 湯 浅 報 恩 会

第 72 期（令和 6 年度）事業報告書

1. 事業概況

令和 6 年（2024 年）は世界的な選挙イヤーとなり、日米を含む各国でトップや政権の交代が起こった。2025 年 1 月には米国大統領にドナルド・トランプが返り咲き、「米国第一主義」へと回帰する中、バイデン前政権の政策を覆す大統領令を次々と発し、世界経済の先行きや地政学に関する懸念を増大させている。トランプが「自分が大統領に就任すれば 24 時間で終結させる」と豪語したロシアによるウクライナ侵攻は 3 年目に入ったが、未だ停戦の目処すら立っておらず、令和 6 年度も世界情勢は不穏なまま推移した。

わが国では、バブル経済の崩壊以来きわめて長期にわたりデフレ経済が続いていたが、COVID-19 の 5 類移行、日銀によるマイナス金利の解除等をきっかけに社会・経済活動が正常化へと向かった。しかし、物価の上昇がガス・電気料等エネルギー価格や郵便料金等公共性の高い分野にまで及び、国民生活を圧迫している。また、鉄鋼等資材価格の高騰と働き方改革の推進にともなう労務費の増大、さらには大阪・関西万博の特需が建築単価を大きく押し上げ、緊急性を要する公共工事の競争入札でも不調が相次ぎ、デフレからの完全脱却を阻害している。こうした情勢下、2024 年 10 月に発足した石波内閣は、コメ不足への懸念が招いたコメ価格急上昇への対応、トランプが打ち出した強硬な関税措置に対抗するための交渉等を迫られ、いきなり難しい局面を迎えている。

医療の分野では、令和 6 年度の診療報酬改定は本体改定率が 0.88% のプラスと発表されたが、その大部分は医療スタッフの処遇改善のための「ベースアップ評価料」だったため、物価上昇を考慮すると実質的には大きなマイナス改定となった。その結果、全国で自立的経営が成り立たない病院が公私を問わず急増し、2025 年 3 月、日本医師会と 6 つの病院団体は合同で、「医療機関の経営は著しくひっ迫しており、…このままでは、…ある日突然、病院が地域からなくなってしまう」危機にあることを訴え、社会保障費の伸びを高齢化の伸びの範囲内に抑制する財政フレームを廃止するよう求める声明を発した。

当法人では、令和 6 年度事業計画に掲げた重点課題のうち、特に財務基盤の強化へ直接つながる医師の確保に力を注いだ結果、整形外科、糖尿病内科、産婦人科、皮膚科（非常勤）で計 3.5 人の医師を確保することができた（皮膚科非常勤医師はその後、家庭の事情により退職）。また、同じく重点課題とした地域医療連携を強化するため、2024 年 4 月に産婦人科主任部長を寿泉堂総合病院院長補佐に任命し、連携先医療機関の訪問、「e 連携」を活用した 24 時間体制での紹介受付の試行等に取り組んだ。ホームページやインスタグラムを活用した各種情報の発信に努め、新たな試みとして「うすい」百貨店のアトリウムを使用しての市民公開医療セミナーも複数回開催した。後述するように、各部門が収益の確保を目指して診療体制の見直し等に取り組んだが、寿泉堂総合病院における平均在院日数短縮の影響等により総じて入院患者数は低調に推移した。物価高が続く中、2024 年 9 月には委託費等見直しの一環として大手電力会社から新電力会社へ契約先の変更を行うなど費用削減策も実施したものの、損益は目標予算を大きく割り込む結果となった。

2. 部門別事業報告

(1) 法人本部

人事関連では、時代の変化を踏まえ、患者等によるいわれのない誹謗中傷、常軌を逸したクレーム等から職員を守るため、カスタマーハラスメントの対策と指針を策定した。また、法人本部に専任の担当者を配置した「プロジェクト E&T」に協力し、職員の体系的な能力開発・教育システムに基づく研修の充実と実施に努めた。さらに、働き方改革を推進するため、ICT の利用拡大も図りながら職員の業務負荷軽減を行った。

財務関連では、コロナ禍の影響等により悪化した財政の立て直しを図るため、外部コンサルタントと共同で増益に向けた改善計画に着手し、一方で設備投資最小限に止めたが、収入が大きく未達となり 774 百万円の損失を計上した。職員には、経営指針となる収支状況を速報値の段階から積極的に発信し、危機意識の共有と経営参画を促した。

「郡山駅前一丁目第二地区第一種市街地再開発事業」の施設建築物（複合ビル）建設工事はほぼ予定通り進捗し、令和 6 年度末（3 月末）時点で 16 階までの躯体工事を完了、工事出来高は 46.1%となっている。

(2) 寿泉堂総合病院

令和 6 年度は、前年度と比較し救急搬送件数が減少し、少なからず新規入院患者の獲得に影響した。入院患者数については、前年度と比較し上期はほぼ同水準で推移したが、下期は DPC 期間Ⅱ以内の退院をより明確に意識し促進した結果、平均在院日数の短縮が進んだ一方で、一日平均入院患者数は前年度の水準に届かなかった。入院診療単価は、下期において DPC 期間Ⅱ以内の退院や転院によって大きく伸びたが、入院患者数減少に相殺されて収支状況の好転には繋がらず、経営は大変厳しい状況となった。

以下に今年度の主な経営指標結果と取り組みを示す。

<財務の視点>（増収・費用削減など）

【入院患者数・平均在院日数】

延べ入院患者数は 66,312 人で前年度より 1,907 人（2.8%）減少した。

平均在院日数は 9.3 日と、前年度と比較し 0.5 日短縮し、延べ患者数減少の大きな要因となった。

【外来患者数・紹介件数（率）】

外来患者総数は 109,933 人（一日平均 389.8 人）で前年度より 0.2%増加した。

微増ではあるが、患者数が増加した理由の一つに、令和 6 年 10 月から約 3 か月間行った小児結核接触者健診並びに非常勤医師が着任した皮膚科の週 2 回の診療増設があげられる。

初診紹介患者総数は 6,883 人と前年度より 459 人増加した。こちらの増加理由も、小児結核接触者健診の影響があげられる。紹介率は 69.7%と前年度より 0.7%増加し、逆紹介率 68.4%とともに地域医療支援病院の要件（当院は、「紹介率 65%以上、逆紹介率 40%以上」で届出）を満たした。

【救急搬送件数・救急入院数】

救急搬送件数は 2,730 件と前年度より 328 件減少したが、地域医療体制確保加算の施設基準 2,000 件をクリアした。救急入院患者も 1,227 人と、前年度より 170 人減少した。

【診療単価】

入院診療単価は、前年度比 5.2%プラスの 67,533 円となった。4 月～9 月までの上半期が 65,389 円だったのに対し、10 月～3 月までの下半期は平均 69,728 円と明らかに上昇し、1 月～3 月は平均 71,000 円を超える単価となった。

外来診療単価は、前年度比 0.1%プラスの 20,126 円となった。

【医業収支】

医業収益は 6,893 百万円と前年度より 186 百万円増加したが、予算値 7,785 百万円を達成することができなかった。物価高を反映した人件費・材料費・設備関係費等の医業費用は、前年比 102 百万円（1.4%）増の 7,597 百万円で、医業収支上は 704 百万円の損失となった。COVID-19 関連の補助金が廃止されたことに加え、入院患者数が伸び悩んだ結果、一般正味財産増減額は 631 百万円の損失となった。これにより、償却前一般正味財産増減額は 182 百万円の損失となり、前年を 96 百万円下回った。

令和 6 年度の増収・費用削減対策では、4 月より感染管理認定看護師の常勤配置および 5 月に福島県より第一種協定指定医療機関の指定を受け感染対策向上加算 1 の算定を開始した。9 月から総合入院体制加算 3 の届出要件である認知症ケア加算 1、令和 6 年度診療報酬改定新規項目のリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算、10 月から総合入院体制加算 3 並びに新生児特定集中治療室管理料 2 の算定を開始した。また、DPC 期間Ⅱまでの退院率が上半期と比較し下半期に 6.3%上昇し 65%超えとなったことも大きく影響し、10 月の入院診療単価は過去最高の 71,053 円となり、2 月は 73,432 円と記録を更新、3 月は 71,804 円と 7 万円台が定着してきた。一方、DPC 期間Ⅱの退院率向上とともに新規患者数の確保にも取り組んできたが、1 日平均入院患者数の予算達成率は 83.7%に留まり外来患者数とともに予算値達成には至らなかった。令和 7 年度は、新規入院患者数の目標と病床稼働率の両軸の達成を目指していく必要がある。

費用削減策として、4 月より医療材料の共同購買を開始した。また 9 月から新電力会社への契約変更を行い電力料金の削減に繋げた。

<顧客の視点>（顧客満足度向上・サービス向上など）

令和 6 年度患者満足度調査による肯定的評価は、入院 90.6 %（前年度 90.1%）、外来 79.0 %（前年度 75.0%）と前年度を上回った。寿泉堂ポスト等に寄せられた「患者さんからの声」の苦情は、接遇に関する内容が主であるが、なんでも相談室に寄せられた「苦情・相談」では、待ち時間等診療科に関する苦情が少なくないため、今後も継続して改善に取り組む必要がある。

令和 6 年度は、4 月に公式インスタグラムを開設し当院の様々な情報の発信を開始した。同じく 4 月に整形外科講演会、10 月には公開医学講座、12 月には寿泉堂忘年懇話会、2 月は歯科口腔外科症例懇話会など、開業医を対象とした対外行事を行った。また、地域医療連携の強化を目的にお中元・お歳暮時期の「季節の挨拶周り」を、前年と同様に病院

長、両副院長はじめ一部の診療科部長の協力を得て行った。今年から、「医師・診療科紹介」パンフレットを作成、配布し各診療科の医師や得意とする診療を紹介することで、集患対策の強化に取り組んだ。9月には寿泉堂病院ゴルフ大会が開催され、地域連携医との親睦を深めた。

10月には郡山市で発生した結核事案に対して、郡山市保健所から接触者健康診断への協力依頼があり、急遽院内体制を整え10月中旬から1月中旬までの約3か月間IGRA検査（採血業務）を実施した。

11月、1月、3月にうすい百貨店1階アトリウムにおいて、医療セミナーイベントを開催し、院内の医師や多職種チームがそれぞれの専門分野を講演し多くの方が来場した。

3月には連携医療機関からの紹介数を増やすため、Web予約システムの試行的運用を開始した。

<業務プロセスの視点>（質の向上・効率化・標準化・連携強化など）

令和6年度は、㈱日本経営によるコンサルティングに基づき法人施設間の連携をさらに強化し、寿泉堂香久山病院への円滑な転院が図れるよう相互に赴き課題解決に向け取り組んだ。当院がDPC期間Ⅱまでの転院を目指すことを、香久山病院との共通目標として取り組めたことは大きな成果と考える。

4月に診療部長会議を開催し病院の黒字化や課題解決に向け活発な議論が行われ、今後は継続して病院運営会議において協議の機会を増やしていくこととした。5月には郡山市保健所から、移設したNICUの使用許可が下り、NICU加算届出に関する施設基準のハード面の体制が整った。6月に認知症ケアチームを立ち上げ、週1回の病棟ラウンド及びカンファレンスを開始した。8月にCOVID-19感染拡大以降5年ぶりに自衛消防訓練を実施した。9月に日本医療機能評価機構による病院医療機能評価訪問調査が行われた。1項目がC評価となったため改善対策を施し補足的な審査を受審した結果、一般病院2の認定を受けることができた。9月から薬剤科の平日当直が開始され総合入院体制加算3の施設基準が整った。10月より給食管理業務の全面委託化を開始したことで管理栄養士の栄養指導件数の増加に繋がった。11月にマイナ保険証の利用率向上と診療報酬加算継続のため、1階フロアにマイナ保険証認証用カードリーダーを2台設置した。1月から看護師の夜勤数確保のため、試行的に10階病棟と11階病棟を1つのユニット化（12病棟）とした。2月からは両病棟合わせて40床を休床とし12病棟60床の病床数で正式に運用を開始した。遡り12月開催の県中地域医療構想調整会議において承認を受けた。1月に東北厚生局による歯科医師臨床研修施設に対する実地調査が7年振りに実施され、指摘事項の改善に向け取り組んだ。

<学習と成長の視点>（職員教育・人員確保・労働環境整備など）

職員教育の取り組みでは、プロジェクトE&Tの主催により、9月にリーダー研修、10月にジュニアスタッフ研修と新役職者研修、11月にフォローアップ研修会を開催し、職員教育プログラムの充実を図った。

人員確保の取り組みでは、9月に奥羽大学薬学部と人材採用に係る包括連携協定の締結が行われた。10月に医科臨床研修医6人のフルマッチングが成立した。歯科臨床研修医

は、二次募集を経て3月に1人採用となった。1月には、感染管理認定看護師、腎不全看護認定看護師の特定行為分野臨地実習施設として研修生2人を受け入れた。

労働環境整備の取り組みでは、4月から医師の働き方改革がスタートし、時間外労働の上限規制が始まった。当院では「A水準」が適用され、各医師の時間外労働は1年間で960時間（月平均で80時間以内）に収めることとなった。毎月の医師の働き方検討会で医師1人1人の当直や超過勤務状況の報告が行われ、令和6年度は全医師がA水準を維持することができた。3月には6人の2年次初期臨床研修医と1人の歯科研修医が必要な単位を取得し、無事に臨床研修を修了することができた。

(3) 寿泉堂香久山病院

令和6年度は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬同時改定の年であり、医療DX推進や地域包括ケアシステムの深化、そして医療従事者の処遇改善など、多岐にわたる大規模改定となった。入院では回復期リハビリテーション病棟で算定を行っていた体制強化加算（1日200点）が廃止されたが、1日のリハビリ単位数を上限まで行う患者を増やすなどの対策で、改定前の単価を保つことができた。また地域包括ケア病床で入院41日以上の場合、基本料が2,838点から2,690点へ減算（148点/1日）、療養病棟の入院料が細分化されるなどの改定があった。最終的に入院診療単価27,359円（前年比+1,014円、予算比+542円）介護入院単価16,595円（前年比+174円、予算比-505円）となった。外来では新設された生活習慣病管理料2(333点)の算定を5月に開始し、年間2百万円の増収となった。最終的に外来診療単価8,393円（前年比-9円、予算比-1,607円）介護外来単価10,781円（前年比-133円、予算比-519円）となった。さらに物価高騰や他産業との賃上げ格差是正のためのベースアップ評価料や介護報酬の改定処遇改善加算の算定、各種補助金の活用により、職員の賃上げを実施した。補助金については、物価高騰補助金等11百万円その他、電子処方箋導入補助金1百万円を受領した。

主要KPIである1日当たりの患者数は、入院199.0人(前年比+0.3人、予算比-13.0人)外来34.4人(前年比-1.3人、予算比-10.6人)であった。COVID-19のアウトブレイクによる入院制限等の影響により患者数が予算を大幅に下回る結果ではあったが、日本経営の支援を受け、オンラインでの入退院調整業務を行うクラウドサービスCAREBOOKの活用分析や、診療報酬単価の高い回復期リハビリテーション病棟の患者獲得を主眼として、重要連携医療機関へ訪問を行い円滑な受け入れのための体制整備を行った。特に寿泉堂総合病院との連携強化においては、申し込みから受け入れまでの日数短縮や情報共有を徹底した結果、総合病院からの紹介患者受け入れ率100%を達成するとともに、DPC入院期間Ⅱ以内での受け入れ率を21%から29%へ改善させた。

外来部門では6月より循環器内科、脳神経外科の診療を開始し、より専門的な診療を地域住民へ提供できる体制を整えた。また10月に郡山市内で発生した結核アウトブレイクに際し、郡山市保健所からの要請を受け、成人を対象としたIGRA検査のた

めの採血体制を迅速に構築した。その結果成人 488 人の採血を行い、感染拡大防止と早期終息に大きく貢献するとともに 7 百万円の臨時収入を得た。

支出面では、ネットワーク機器・無線アクセスポイント更新に 18 百万円、電子カルテ導入に 35 百万円の投資を行った。これらは今後の医療 DX 推進に必要な不可欠な投資であると判断したものである。

地域貢献活動としては、COVID-19 流行後初となる「家庭医学講座」を再開し、骨粗鬆症をテーマとした講演には地域住民等 37 人が参加し好評を博した。また、重要な地域交流の機会である夏祭りについてもコロナ禍以降初の開催となったため、感染対策に配慮した新たな形式で臨んだ。

広報活動においては、当院が第 2 回 SDGs アワードを受賞したことを受けての SDGs への取り組みに関する取材協力（Instagram、郡山市ホームページへのインタビュー記事掲載）をはじめ、セーフコミュニティ推進事業所としての広報誌への記事掲載、市制施行 100 周年記念「手話歌でつながろうプロジェクト」への参加など、行政からの依頼も多く、積極的な情報発信を行うことができた。これらの広報活動は、長年にわたり取り組みを続けてきた当院の品質・環境マネジメント（ISO）を基盤として展開されている。

令和 6 年度様々な改善に取り組むも、予算達成及び黒字化は未達であったが、前副院長が院長に就任した新体制のもと、業務効率化を重点目標とし、喫緊の課題である医療 DX 推進への対応として、電子カルテ導入に全院で取り組んだ。既存のオーダーリングシステムに電子カルテ機能を追加することで費用を最小限に抑えつつ、専門職が本来業務に専念し、質の高いチーム医療を提供できる環境を整備した。

令和 7 年度は、入院患者数の増加を最重点目標と捉え、「2025 Kaguyama's 5Strategies & 8Tactics」を計画し寿泉堂総合病院との連携強化を軸に、地域包括ケアシステムを尊重した周辺医療機関や介護事業所等との連携強化、医療・介護 DX の深化、内外顧客体験の向上をもって地域に信頼され、選ばれる病院を目指したい。

(4) 寿泉堂クリニック

(透析センター)

透析監視装置 49 台は、すべて集中管理方式による透析液供給体制でオンライン HDF（血液濾過透析）対応となっているが、今年度の血液濾過透析実施率は平均 95.7%と高水準を維持し、より小分子蛋白質などの除去効率が高く質の良い透析を提供できた。また、透析情報集中管理システムにより財団内施設の透析情報の共有化が図れた。

COVID-19 等感染症対策では発熱患者等の検査を積極的に実施し、陽性患者等の隔離透析を徹底した結果、施設内での伝播を防御できた。また、11 月に台湾からの団体旅行者 18 人の臨時透析を受け入れた。

延べ患者数は病院車利用による患者送迎コースを拡充したこともあり 19,494 人と前年比+85 人 0.4%増加、診療単価は薬剤の見直しやオンライン HDF の実施率アップ、透析時運動指導や足病変に対する処置等の実施により+898 円 2.7%増加したことで、

収入総額は前年比+21 百万円 3.4%増加の 656 百万円を確保できた。

(健診センター)

今年度も COVID-19 感染者数は少ない状況下でのスタートとなったが、10 月以降増加し始め、インフルエンザの流行も加わり 2 月までその影響を受けた。感染拡大防止対策として、体調の確認、接触歴や罹患歴の確認を徹底し、該当のある受診者については一定期間受診制限を行ったことで延期やキャンセルが多く発生したが、健診業務は休止することなく継続することができた。

保健衛生活動の推進にかかる特定保健指導を積極的に行い、今年度は 139 人に実施できた。人間ドック健診者への当日結果説明は 100%実施、うち保健指導は 641 人・18.5% (前年 899 人・26.0%) の受診者に行い、生活習慣病の予防・改善に取り組んだ。

感染対策を行いながらではあったが、健診者延数は年間 17,519 人、収入総額は前年比+1.8 百万円 0.4%増加の 417 百万円と過去最高となった。

(クリニック総括)

透析部門は郡山市内の透析ベッド増にともない患者獲得の激戦区となっており、無料送迎による患者確保に努めているが実患者数は年度当初より+2 人に止まった。健診部門は COVID-19 の影響を受けながらではあったが 6 月以降高水準となり、これを維持できたことにより、収入は過去最高を記録することができた。

寿泉堂クリニック全体の医業収益総額は 1,073 百万円、対前年比+2.2%・23 百万円の増収となり、医業費用は高額薬剤の使用・透析材料の見直しがあったことにより前年比 29 百万円増加した。その結果、減価償却前利益は 300 百万円・前年比-15 百万円となり、医業収益対利益率は、前年比より若干減少したが 28%と高い利益率を達成することができた。

(5) いずみ訪問看護ステーション

<財務の視点>

訪問件数は年間 3,054 件で、前年比 36 件増加した。人事異動等から訪問件数が減少した月もあったが、7 月以降訪問件数は増加した。終末期ケア、褥瘡処置、点滴施行のため連日訪問することで、訪問件数の増加につながった。利用者数も増加し、令和 6 年 8 月以降 50 人以上を維持している。

介護保険利用者の看護体制強化加算 I は算定継続ならず、令和 6 年 8 月から看護体制強化加算 II となった。医療保険の利用者も全利用者の 10~13%と前年比 57%と減少。短期間や特別指示期間の利用のため、利用者増加につながらなかった。

<顧客の視点>

退院した利用者 32 人のうち 14 人に退院時共同指導を算定。退院時担当者会議へ参加することで、利用者・家族への療養指導を行うことができた。また、新規利用者と退院前に顔を合わせることで、利用者の緊張感緩和と信頼関係の構築につながった。

退院当日の訪問は、退院した利用者 32 人のうち 8 人に訪問。法改正にともない、介護保険の利用者も指示書に記載があれば退院当日の訪問が可能となった。利用者の療養生活を支援するため、退院当日の訪問を強化していく。

利用者満足度調査は、「とても良い」が 74.5%との回答があり、目標値 106%の達成度となった。

<業務プロセスの視点>

ACP シートを作成し、既存利用者・新規利用者へ活用することができた。また、三部署合同事例検討会へスタッフ全員が参加、多職種の意見を取り入れることで、利用者へ質の高いケアを提供することができた。

<学習と成長の視点>

年 2 回デスクカンファレンスを実施し、担当ケアマネジャーも出席、ケア内容の共有を図ることができた。

年 5 回事業所内勉強会を開催し、各スタッフが勉強会を担当して知識の向上に努めた。

(6) 寿泉堂香久山居宅介護支援事業所

<財務の視点>

ケアプラン件数は年間 2,073 件で、前年比 242 件増加した。10 月に職員の異動はあったものの、特定事業所加算Ⅱの算定を維持することができ、新規相談も積極的に受け入れてきた。入退院時は医療機関とも連携を図り、結果、初回加算や入院、退院・退所等に関する加算の算定数を増やすことができた。近年、介護力の少ない高齢世帯、独居高齢者からの依頼が多くなりつつある。介護者の負担が大きい、体調不良時の対応が困難であるなど、入院や施設入所となる傾向が高くなっている。そのため在宅看取りを希望する利用者や家族の減少がみられ、下期はターミナルケア加算算定が減少した。今後話し合いを十分に行った上で、在宅での看取りを希望される本人・ご家族に対して訪問診療、訪問看護の協力を得ながら早期に情報提供をしていく。

在宅部門でかかわる高齢者が増加するにつれ、急変し病院へ急遽入院することも多くなっていく。医療と介護の連携を法人内で強化していくことを目標とし、これからお互いに柔軟な対応ができるように、各事業所単位で話し合いを重ねるのではなく、医師を含めた組織全体で考えていくことが重要である。

<顧客の視点>

利用者の介護度別では要介護 1、2 の軽度者が 71%、要介護 3～5 の中重度者は 29%と前年と比較し軽度者が増加した。前述のとおり人的・物的・経済的環境等が整わないと在宅介護を続けることは難しく、生活保護を受けながら最終的に施設入所などにより終了となることも多かった。認知症や身寄りがいない、高齢者虐待など権利擁護を必要とする利用者や、8050 問題など家族支援を必要とするケースも多くなり、一人一人のケース対応に時間を要している。居宅介護支援事業所は人生の最終段階に関わる人が多い。利用者や家族の意向や思いを受け止め、寄り添い、利用者だけではなくその家族への支援の視点を持ち業務に取り組んできた。今後もその姿勢を継続していく。

<業務プロセスの視点>

処遇困難ケース対応のスキル向上を目的に、事例検討を積極的に実施した。医療や介護だけでなく障害福祉制度や成年後見制度、高齢者虐待対応などについても検討し、課題解決スキルの向上に努めた。

自然災害や感染症が発生しても業務継続ができるよう、業務継続計画(BCP)の見直し、評価を行った。結果、より充実した内容となっている。

実習生は福島県介護支援専門員実務研修を2人、ポラリス保健看護学院より2人を受け入れた。

<学習と成長の視点>

事業所内研修の充実を図り、倫理や面接技術、接遇、メンタルヘルス、ハラスメント、防災、ACP、虐待防止などの研修を実施し知識を深めた。利用者やその家族が住み慣れた地域で安心して在宅生活が継続できるよう、ケアマネジメント力を向上させ支援していきたい。

(7) 郡山南部地域包括支援センター

<財務の視点>

担当地区の高齢者数は前年度に比べて102人増加し6,644人、高齢化率は27.5%となっており、前年比0.6%増加した。要支援者・事業対象者のケアプラン作成件数は2,997件で、前年比54件増加し目標値の2,926件を71件上回った。要支援者・事業対象者の初回加算算定は101件で、前年比10件減少した。

高齢化率が増加する一方で要支援状態が維持できるよう、自立支援の観点から介護保険以外のボランティアや社会資源の活用を考慮した予防ケアプランの作成を行なうことができた。

<顧客の視点>

新規相談対応は293件で、前年比17件減少した。高齢者の増加に伴い認知症の方の増加が見られており、認知症初期集中支援チームをはじめ、医療機関や多職種との連携を図り課題解決に向けて対応することができた。

菜根・久留米のいきいきサロンで健康教室を開催し、地域住民へ自立支援や介護予防普及のために活動することができた。

<業務プロセスの視点>

地域ケア会議は個別会議が1回開催となったが、本人を取り巻く家族支援について、行政・保健所・医療機関・居宅と連携し課題解決に向けて検討を行った。圏域会議は橘地域で協議体と共同開催し、新たな活動の場づくりを展開することができた。

認知症施策推進のため、民生委員を対象に橘地区・三中地区で認知症サポーター養成講座を開催し認知症の理解と対応について周知することができた。

ケアマネジメントの質の向上を図るため、包括支援センター内や在宅三部署合同で事例検討を行った。また、法人内の連携強化のために、寿泉堂総合病院・寿泉堂香久山病院の相談員、居宅、包括の四部署合同で研修会や事例検討を行った。

<学習と成長の視点>

担当エリアの居宅ケアマネジャーとの交流会・研修会を企画し、専門職としてのスキルアップを図った。

外部の研修会などにも積極的に参加し、研修内容を部署内で伝達し専門知識の向上に努めた。

3. 収 支 報 告 (決 算)

「2. 部門別事業報告」に述べた各部門の事業経過の結果、法人全体の令和6年度医業収益総額（内部取引消去前）は10,012百万円となり、前年度に対して241百万円・2.5%増加した。これに受取補助金（設備投資に対する補助金振替額を含む）110百万円を加えた経常収益は10,215百万円となり、前年度に対し59百万円・0.6%の増加となった。対する経常費用総額（内部取引消去前）は、10,961百万円と前年度比175百万円・1.6%増加し、その差額である令和6年度の当期経常増減額（経常損益）は745百万円の損失となった。

寿泉堂総合病院では10月より新生児特定集中治療室管理料等新たな施設基準の取得、及びDPC期間Ⅱまでの退院率の上昇により入院診療単価が改善されたが、寿泉堂香久山病院も含め入院患者数が伸び悩んだ影響が大きく、経常外増減額を合算した当期一般正味財産増減額（当期純利益）では774百万円という多額の損失を計上した。

この危機的状況から脱するため、既に外部コンサルタントとともに策定した経営改善計画の着実な実行に取り組んでいるところであるが、令和7年度は、「関連法人も含め寿泉堂グループが有する病院・施設並びに部門間の連携を徹底的に強化し、シームレスな運営を行う」ことを最重要課題とし、連携医療機関からの紹介を100%受け入れるしくみを整えるとともに、マーケット分析に基づく集患戦略を策定・実行していく。

4. 役 員 会 報 告

本年度の理事会・評議員会等を、以下の通り開催した。

(1) 理 事 会

① 定 時

開催日 令和6年6月11日

議決事項

- ・ 第1号議案 令和5年度事業報告・決算報告について
- ・ 第2号議案 会計監査人の監査報酬について
- ・ 第3号議案 理事の退任及び新たな理事候補者の選任について
- ・ 第4号議案 監事の退任及び新たな監事候補者の選任について
- ・ 第5号議案 退任する理事及び監事の役員退任慰労金について
- ・ 第6号議案 定時評議員会の招集について

報告事項

- ・ 郡山駅前1丁目第2地区市街地再開発事業報告について
- ・ 関連施設の現況報告について

② 定 時

開催日 令和7年3月26日

議決事項

- ・ 第1号議案 令和7年度事業計画・収支予算案について
- ・ 第2号議案 令和7年度借入限度額設定について
- ・ 第3号議案 令和7年度事業計画書等の福島県への提出について

報告事項

- ・ 令和6年度決算見通しについて
- ・ 郡山駅前1丁目第2地区市街地再開発事業の状況報告について

(2) 評 議 員 会

① 定 時

開催日 令和6年6月26日

議決事項

- ・ 第1号議案 令和5年度事業報告・決算報告について
- ・ 第2号議案 理事の退任及び新たな理事の選任について
- ・ 第3号議案 監事の退任及び新たな監事の選任について
- ・ 第4号議案 退任する監事の役員退任慰労金について

報告事項

- ・ 郡山駅前1丁目第2地区市街地再開発事業の状況報告について
- ・ 関連施設の現況報告について

(3) 業 務 監 査 ・ 会 計 監 査 に 関 す る 会 議

① 令和5年度第71期会計監査人監査報告

開催日 令和6年6月6日

内容 決算報告書に関する監査結果報告

② 令和5年度第71期監事監査

開催日 令和6年6月6日

内容 業務監査及び会計監査

③ 会計監査人と理事者等とのディスカッション

開催日 令和6年10月9日

内容 監査計画についての説明

④ 会計監査人とのディスカッション

開催日 令和7年4月9日

内容 決算に向けての検討事項の把握

(4) その他

常勤理事出席による財団運営会議を、毎月第1週に開催した。

5. 診療報告

(1) 令和6年度の患者数等は、次の通りである。

(患者数)

	寿泉堂総合病院		寿泉堂香久山病院		寿泉堂クリニック		合計	
	人	前年比	人	前年比	人	前年比	人	前年比
外来患者総数	109,933	100.2%	9,701	94.4%	19,725	100.4%	139,359	99.8%
一日平均	389.8	102.4%	34.4	96.4%	63.1	100.5%	487.3	101.7%
新患者数	12,917	103.3%	397	75.0%	228	106.0%	13,542	102.2%
入院患者総数	66,312	97.2%	57,600	98.9%			123,912	98.0%
一日平均	181.7	97.5%	157.8	99.1%			339.5	98.2%
新入院患者数	6,412	101.4%	517	108.8%			6,929	101.9%
退院患者数	6,418	101.1%	517	106.2%			6,935	101.5%
病床数	305	100.0%	199	100.0%			504	100.0%

(寿泉堂香久山病院介護医療院) 令和1年10月1日開設

	令和6年度	令和5年度	増減	前年比
入所者総数	15,011人	14,480人	531人	103.7%
一日平均	41.1人	39.6人	1.5人	103.8%
新入所者数	17人	27人	-10人	63.0%
退所者数	20人	26人	-6人	76.9%
療養床数	51床	51床	0床	100.0%

(救急患者数及び救急車による受入件数)

寿泉堂総合病院

	令和6年度	令和5年度	増減	前年比
入院	1,303人	1,471人	-168人	88.6%
外来	4,648人	4,609人	39人	100.8%
救急車搬送件数	2,730件	3,057件	-327件	89.3%

(人間ドック及び各種健診受診者数)

寿泉堂クリニック

健診内容	令和6年度	令和5年度	前年比
日本病院会指定による二日人間ドック	56人	58人	96.6%
日本病院会指定による一日人間ドック	3,457人	3,452人	100.1%
全国健康保険協会による生活習慣病予防健診	3,613人	3,594人	100.5%
一般事業所健診	7,836人	7,953人	98.5%
郡山市住民健診	2,272人	2,220人	102.3%
個人健診	285人	247人	115.4%
計	17,519人	17,524人	100.0%
特定保健指導	139人	148人	93.9%
保健栄養指導	697人	957人	72.8%

(いずみ訪問看護ステーション)

	令和6年度	令和5年度	前年比
利用者延人数	641人	589人	108.8%
訪問延件数	3,054件	3,018件	101.2%
新規利用者数	53人	44人	120.5%

(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)

	令和6年度	令和5年度	前年比
ケアプラン作成件数	2,073件	1,831件	113.2%
認定調査件数	21件	26件	80.8%

(郡山南部指定介護予防支援事業所)

	令和6年度	令和5年度	前年比
介護予防プラン作成件数	2,997件	2,943件	101.8%

(2) 本年度導入した主な医療機器及びその他の機器は、次の通りである。

(本部)

勤怠管理システム

人事・給与システムサーバ

(寿泉堂総合病院)

全自動化学発光酵素免疫測定装置

BSプローブホルダー

読影用端末

ベッドサイドモニター送信機 5台

医用テレメータ 8人用

生理検査サポートシステム

心電計

血圧脈波検査装置

呼吸機能測定装置

ウィルスバスターサーバー

ICG 蛍光観察カメラシステム

IBS シェーバーシステム

全自動尿流量計

手術用電動ドリルシステム

電動ベッド 20台

テレスコープ

除細動器

人工呼吸器

放射線読影レポート用音声 AmiVoice

電子処方箋システム

(寿泉堂香久山病院)

電子カルテ

電子処方箋システム

散薬分包機

口腔内細菌カウンター

(寿泉堂クリニック)

透析用監視装置 4台

上部消化管汎用ビデオスコープ

多目的3モーターベッド 2台

3モーター電動チェア 4台

(いずみ訪問看護ステーション)

オンライン請求・資格確認システム

6. 公益事業報告

(1) 救急医療活動

- ① 救急医療に関し、郡山地区救急病院協議会、郡山地区第二次病院協議会の運営に協力した。
- ② 救急告示病院として、全日救急患者受け入れに対応した。さらに、郡山地区第二次病院群輪番制により毎週木曜日・金曜日と第2日曜日・第4日曜日を担当し、積極的に地域医療に協力した。担当日における時間外の取扱患者数は、次の通りである。

	令和6年度	令和5年度	増減	前年比
入院（担当日）	1,030人	1,138人	-108人	90.5%
入院（年度内総人数）	1,303人	1,471人	-168人	88.6%
外来（担当日）	4,346人	4,254人	92人	102.2%
外来（年度内総人数）	4,648人	4,609人	39人	100.8%
救急車搬送件数（担当日）	1,710件	1,846件	-136件	92.6%
救急車搬送件数（年度内総件数）	2,730件	3,057件	-327件	89.3%

- ③ 郡山市休日・夜間急病センターの二次病院として、毎週木曜日・金曜日と第2日曜日・第4日曜日を担当し、病床の確保等を通じ全面的に協力した。

(2) 育英事業

令和6年度の奨学生は、次の通りである。

福島県立医科大学看護学部	1人
福島県立医科大学看護学部別科助産学専攻	1人
山形県立保健医療大学看護学科	1人
国際医療看護福祉大学	3人
東北文化学園大学看護学科	1人
東北福祉大学看護学科	1人
新潟医療福祉大学看護学部看護学科	1人
医療創生大学看護学部看護学科	1人
北里大学保健衛生専門学院	1人
福島東稜高等学校看護専攻科	1人
太田看護専門学校	5人
公立岩瀬病院附属高等看護学院	1人
福島看護専門学校	1人
郡山看護専門学校	2人
東北医科薬科大学	1人
奥羽大学薬学部	1人

(3) 公衆衛生協力事業等

- ① 開放型病院として、38床の開放型病床を地域の登録医に開放した。（利用率 38.1%）
- ② 所得に左右されることのない医療を提供するため、生活困窮者等を対象とした医療費減免を実施した。（実施件数 38件）

- ③ 郡山市内小中学校 6 校の健康診断、妊婦健診、乳幼児並びに 3 才児健診を実施した。
- ④ 産業医として市内各事業所の産業安全衛生活動を実施した。
- ・労働者の健康管理等を目的とした産業医活動を実施
(5 事業所 従業員総数 1,244 人)
 - ・健康相談・健康セミナーを事業所にて開催 (3 事業所 年間 28 回)
 - ・保健師による健康相談・保健指導を事業所にて開催
(1 事業所 年間 12 回)
- ⑤ 厚生労働省からの要請による院内感染対策サーベイランス事業に協力した。
- ⑥ エイズ治療拠点病院として、サーベイランス調査、HIV 感染患者の診療に協力した。
- ⑦ 周産期医療協力病院として、福島県周産期医療システムに協力した。
- ⑧ 献血事業協力のため、福島県赤十字血液センターでの採血協力のほか採血バスへの医師派遣を毎月 1 回実施した。
- ⑨ 社会福祉法人いずみ福祉会への診療協力を実施した。
- ⑩ 郡山市の委託により地域包括支援センターを運営した。

(郡山南部地域包括支援センター運営実績)

	令和 6 年度	令和 5 年度	前年比
相談業務	18,553 件	22,627 件	82.0%
実態把握	406 件	380 件	106.8%
地域ケア会議	1 回	4 回	25.0%
地域圏域会議	1 回	—	—
生活支援体制整備事業	3 回	10 回	30%
介護予防教室	25 回	17 回	147.1%
認知症サポーター養成講座	2 回	1 回	200.0%

- ⑪ 地域住民を対象とする健康教室等を開催した。

(寿泉堂総合病院)

令和 6 年 5 月 14 日	「看護の日」イベント 骨密度測定等各種測定及び看護、その他各種相談	72 人参加
9 月 28 日	救急の日イベント 郡山地方広域消防組合の協力により、イオンタウン郡山イベント広場にて開催	263 人参加
11 月 30 日	医療セミナー 「体のサインを見逃さない症状別受診ガイド 頭痛編」 聖マリアンナ医科大学 総合診療内科 大平善之主任教授	82 人参加
令和 7 年 1 月 11 日	医療セミナー 「体のサインを見逃さない症状別受診ガイド かぜ編」 聖マリアンナ医科大学 総合診療内科 大平善之主任教授	84 人参加
3 月 22 日	医療セミナー 「糖尿病にならないために」 寿泉堂総合病院 糖尿病チーム	72 人参加
3 月 27 日	寿泉堂健康教室 「尋常性ざ瘡」(ニキビ)	Web 開催

(寿泉堂香久山病院)

令和6年 7月26日	第24回夏祭り	
12月4日	家庭医学講座 「骨を強くするための運動と食事のヒケツ」	二次性骨折予防チーム

- ⑫ 地域医療支援病院として、地域の医師、医療機関を対象とする医学講座並びに症例懇話会を開催した。

(医学講座)

令和6年 4月11日	地域研修会 演題「がんゲノム医療時代の脊椎転移診療について」 講師 福島県立医科大学整形外科医学講座 主任教授 松本嘉寛先生	
令和6年 10月30日	第48回寿泉堂病院公開医学講座 演題「統合失調症の治療～最近の話題～」 講師 福島県立医科大学神経精神医学講座 主任教授 三浦 至先生	

(症例懇話会)

令和6年 12月4日	寿泉堂忘年懇話会	参加人数 202人
令和7年 2月25日	歯科口腔外科 ・歯科口腔外科近年の動向	参加人数 35人

- ⑬ 地域医療支援病院として、地域医療従事者に向けた研修会を開催した。

(寿泉堂総合病院)

令和6年 5月24日	公認心理師研修会 「ひとり時間でストレスマネジメント」	4人参加
8月21日	救急蘇生法講習会 「救急蘇生とAEDの使い方」	34人参加
9月27日	がん化学療法看護認定看護師による研修会 「地域で支えるがん治療」	12人参加
11月20日	小児科医師による研修会 「麻疹について」	5人参加
12月26日	緩和ケア認定看護師による研修会 「悲しみに寄り添うグリーフケア」	20人参加
令和7年 1月21日	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師による研修会 「何かおかしいと感じた時の観察ポイント」脳卒中編	14人参加
2月26日	皮膚・排泄ケア認定看護師による研修会 「スキンケア」	20人参加
3月7日	精神看護専門看護師による研修会 「当院認知症ケアチーム活動と地域連携について」	17人参加

(寿泉堂香久山病院)

令和6年 5月30日	第3回リハビリテーションフォーラム	50人参加 18病院 Web参加
------------	-------------------	---------------------

- ⑭ 各種研修会講師、地域の健康増進、各種行事等へのスタッフ派遣に協力した。

令和6年 4月29日	第31回郡山シティーマラソン 救護班	看護師2人
------------	--------------------	-------

5月 5日	第59回こどもまつり 救護班	看護師 1人
6月 1日	郡山市まちなか夢駅伝競走大会 救護班	看護師 2人
7月 8日	日東病院感染管理研修会 講師 (8月5日、9月2日、10月7日、11月7日)	感染管理認定看護師 1人
7月 12日	船引南地区幼少中連絡協議会教育講演会 講師	看護師 1人
8月 2日	第60回郡山うねめまつり 救護班 (~3日)	看護師 4人
10月 10日	公衆衛生事業まちの保健室 (11月9日、12月7日)	保健師 1人
10月 10日	あさかの里職員研修会 講師	主任ケアマネ 1人
11月 11日	福島県病院協会看護補助者研修会 講師	統括リスクマネージャー 感染管理認定看護師
11月 19日	グループホームすぷりんぐ施設研修 講師	訪問看護師 1人
12月 11日	看護の出前講座 講師 郡山ザベリオ学園	助産師 2人
12月 19日	看護の出前講座 講師 御木沢小学校	助産師 2人
令和7年 3月 5日	星総合病院高度専門教育センター 医療関連サーベイランス講義 講師	感染管理認定看護師 1人
3月 21日	スプリングガーデンあさか感染対策研修会講師 (~26日)	感染管理認定看護師 1人

⑮ ボランティア受け入れのため、運営委員会を開催した。

(ボランティア運営委員会)

寿泉堂総合病院 7回

⑯ 地域のコミュニティスペースとして、寿泉堂総合病院の会議室を開放した。

令和6年 6月 29日	BLS プロバイダーコース (~30日)	日本 ACLS 協会
8月 11日	ICLS 講習会 (~12日)	日本救急医学会
8月 24日	福島医大脳神経外科同門会症例検討会	福島医大脳神経外科同門会
9月 14日	エイズとソーシャルワーク委員会研修会 福島県医療ソーシャルワーカー協会	
10月 20日	福島県糖尿病看護研究会世話人会	福島県糖尿病看護研究会
11月 9日	ふくしま病院連携ネットワーク二次医療圏連携強化推進事業 ふくしま病院連携ネットワーク	

11月23日	ACLSプロバイダーコース（～24日）	日本ACLS協会
12月5日	福島県臨床工学技士会理事会	福島県臨床工学技士会

(4) 研究研修事業

臨床研修医、医学実習生及びその他の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

① 研究助成・事業援助の状況

(ア) 関連大学へ研究助成	29件	19,200,000円
(イ) 関連各種学会へ事業援助	4件	700,000円
(ウ) 地域への事業援助	25件	515,000円

② 初期臨床研修医の受入状況

(ア) 基幹型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）

マッチングによる2年間の研修（医科） 1年次6人 2年次6人

マッチングによる1年間の研修（歯科） 1人

(イ) 一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院の協力型臨床研修病院

（寿泉堂総合病院）

研修医 1年次4人 2年次2人

研修科目 産婦人科

(ウ) 公立岩瀬病院の協力型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）

研修医 2年次1人

研修科目 眼科

③ 看護学生等の受入状況

	学校名	人数
看護学生	福島県立医科大学看護学部	64人
	福島県立医科大学看護学部別科助産学専攻	4人
	福島県立医科大学大学院看護学研究科	1人
	郡山看護専門学校	123人
	ポラリス保健看護学院	8人
	国際医療看護福祉大学校	4人
薬学生	奥羽大学	4人
	国際医療福祉大学	1人
	谷病院	1人
リハビリテーション科学生	福島県立医科大学	3人
	東北福祉大学	2人

リハビリテーション科学生	仙台青葉学院短期大学	1人
	群馬パース大学	1人
	つくば国際大学	1人
臨床工学士学生	国際医療看護福祉大学校	2人
視能訓練士学生	国際医療福祉大学	4人
	新潟薬科大学附属医療技術専門学校	2人
歯科衛生士学生	福島医療専門学校	20人
栄養士学生	郡山女子大学	4人
	郡山女子大学短期大学部	3人
社会福祉士学生	東北福祉大学	1人
事務関係学生	国際医療福祉大学	2人
	仙台医療秘書福祉&IT 専門学校	1人
福島県介護支援専門員実務研修	福島県社会福祉協議会	2人

④ 看護学生インターンシップ受入状況

学校名	人数
福島県立医科大学看護学部	2人
東北大学	1人
東北文化学園大学	1人
医療創生大学	3人
国際医療福祉大学	3人
足利大学	1人
桐生大学	1人
つくば国際大学	1人
北里大学	1人
常盤大学	1人
東京都立大学	1人
新潟青陵大学	1人
新潟医療福祉大学	3人
山形大学	1人
公立岩瀬病院附属高等看護学院	5人
郡山看護専門学校	3人

福島東稜高等学校	3人
福島看護専門学校	2人
竹田看護専門学校	2人
いわき市医療センター看護専門学校	1人

⑤ 一般の実習受入状況

実習内容	人数
高校生の一日本看護体験	10人

⑥ 研究事業

(ア) 学会発表演題数 (診療部) 23題

(イ) 剖検数 2体

⑦ 研修事業

(ア) 研究研修のための学会等への派遣 (延人数)

	本部	寿泉堂	香久山	クリニック	いづみ訪問	居宅介護	地域包括
診療部	—	144人	3人	10人	—	—	—
看護部	1人	121人	89人	16人	—	—	—
診療支援部	—	53人	15人	8人	—	—	—
事務部	3人	42人	12人	—	—	—	—
その他	—	6人	—	—	—	—	—
合計	4人	366人	119人	34人	—	—	—

(Web研修)

	本部	寿泉堂	香久山	クリニック	いづみ訪問	居宅介護	地域包括
診療部	—	24人	11人	5人	—	—	—
看護部	—	11人	3人	3人	—	—	—
診療支援部	—	4人	4人	—	—	—	—
事務部	—	4人	3人	1人	—	—	—
その他	—	1人	—	—	—	—	—
合計	—	44人	21人	9人	—	—	—

(イ) 教育研修等

(法人)

令和6年 9月25日	プロジェクトE&T階層別研修会 (リーダー研修)	29人参加
10月4日	プロジェクトE&T階層別研修会 (ジュニア研修)	26人参加
10月23日	プロジェクトE&T新役職者研修会 (令和6年度新役職者)	16人参加
10月28日	プロジェクトE&T階層別研修会 (リーダー研修)	29人参加
11月1日	プロジェクトE&T新役職者フォローアップ研修会 (令和5年度新役職者)	15人参加
11月28日	新入職員フォローアップ研修会	51人参加
12月7日	新役職者考課者訓練	17人参加

12月18日	第32回寿泉堂病院学会（～1月10日 Web 配信）	769人参加
--------	----------------------------	--------

（寿泉堂総合病院）

令和6年10月18日	保険診療に関する研修会 「保険診療におけるリハビリ関連の流れ」 （～30日 Web 配信）	639人参加
11月18日	診療用放射線の安全利用のための研修会 「放射線の安全利用の総論」 （～12月31日 Web 配信）	86人参加
11月29日	保険診療に関する研修会 「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算について」 （～12月27日 Web 配信）	551人参加
令和7年2月14日	MRIの安全管理に関する研修会（～4月30日 Web 配信）	157人参加

（寿泉堂香久山病院）

令和6年6月4日	心理的安全性のつくりかた（～25日）	282人参加
11月7日	虐待・身体拘束防止の介護ケア（～29日）	276人参加

（寿泉堂クリニック）

令和6年8月31日	接遇研修会（9月13日） 「クレームの奥にある想いを知ろう」	69人参加
-----------	-----------------------------------	-------

（ウ）海外研修 COVID-19を考慮し実施せず

7. 設備改修工事等報告

令和6年度に実施した主な設備改修工事は、次の通りである。

（寿泉堂総合病院）

- ・NICU室第2期改修工事
- ・小型貫流ボイラ用軟水装置自動弁更新工事
- ・小型貫流ボイラ1号機更新工事
- ・冷温水発生機部品更新工事
- ・中央制御監視装置部品更新工事
- ・GHP室外機修繕工事（8階病棟個室系統）

（寿泉堂香久山病院）

- ・院内LANネットワーク環境整備工事
- ・南側既存ブロック塀補強工事

（寿泉堂クリニック）

- ・6階7階系統GHP室外機更新工事
- ・ME機械室空調機更新工事
- ・オンライン資格確認用回線増設工事

(在宅部門)

・照明器具 LED 化工事

8. 労使関係報告

- (1) 令和6年4月1日からの休日・時間外労働に関する労使協定(36協定)を締結した。
- (2) 令和6年4月1日付、クリニック透析センター遅出終業時について就業規則の変更を行った。
- (3) 令和6年5月1日付、クリニック透析センター遅出勤務新設について就業規則の変更を行った。
- (4) 令和6年5月12日開催の労使協議会において、令和6年度の給与改定について妥結した。昇給率2.00% 昇給額 3,902円(標準5号の定期昇給)
- (5) 令和6年5月12日開催の労使協議会において、令和6年度の上期賞与の支給率について妥結した。(基本給+調整手当4,000円)×(基準賞与1.5ヶ月+業績賞与0.9ヶ月)
- (6) 令和6年6月1日付、令和6年度診療報酬改定に伴うベースアップ評価料について労使協定を締結し、就業規則変更を行った。
- (7) 令和6年6月1日付、令和6年度介護報酬改定に伴う介護職員等の処遇改善について労使協定を締結し、就業規則変更を行った。
- (8) 令和6年9月1日付、当直後翌日の明けに関する取扱いの変更申入れを行い、就業規則の変更を行った。
- (9) 令和6年9月1日付、寿泉堂香久山病院第2病棟夜勤帯における勤務時間変更の申入れを行った。
- (10) 令和6年10月1日付、寿泉堂総合病院11階病棟の夜勤勤務時間と長日勤休止の申入れを行った。
- (11) 令和6年10月1日付、服務規律及び特殊勤務手当の就業規則の変更を行った。
- (12) 令和6年10月1日付、最低賃金改定に伴う給与規程の変更を行った。
- (13) 令和6年11月1日付、寿泉堂総合病院10階病棟の夜勤勤務時間と長日勤休止の申入れを行った。
- (14) 令和6年11月1日付、年末年始の出勤手当の取り扱いについて、就業規則の変更を行った。
- (15) 令和6年11月20日開催の労使協議会において、令和6年度下期賞与の支給率について妥結した。(基本給+調整手当4,000円)×(基準賞与2.0ヶ月+業績賞与0.4ヶ月)
救急指定日の夕食を現物給付から現金給付に変更し、就業規則の変更を行った。
- (16) 令和7年1月1日付、寿泉堂総合病院7階及び9階病棟の夜勤勤務時間と長日勤休止の申入れを行った。
- (17) 令和7年1月1日付、住宅手当について就業規則の変更を行った。
- (18) 労使双方の代表によって構成する「給与委員会」を定例開催した。

9. 庶務事項報告

(1) 令和7年3月31日現在の職員数は次の通りである。

(単位：人)

	医師		看護師・准看護師		医療技術員		事務職員		その他		計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
本部			1				13	3			14	3
寿泉堂	59	75	229	23	114		87	6	34	4	523	108
香久山	8	6	93	4	52		17		66	4	236	14
クリニック	5	16	34	3	9	1	15	3	2	2	65	25
いずみ訪問			6								6	0
居宅介護			4				2				6	0
包括支援			4				2				6	0
計	72	97	371	30	175	1	136	12	102	10	856	150

※休職者除く

- (2) 公認会計士による法定監査を受けた。
- (3) 当法人及び寿泉堂松南病院を退職した元職員による寿泉堂病院 OB 会「寿友会」の運営に協力した。
- (4) 従業員の健康確保、労働環境確立と労働能力の高揚を目的に、各施設において衛生委員会（昭和55年1月制定）を12回開催した。
- (5) 医療安全の確保を目的とした医療安全管理委員会、医療安全対策委員会及び職員研修会を次の通り開催した。

（医療安全管理委員会、医療安全対策委員会）

寿泉堂総合病院 24回

寿泉堂香久山病院 12回

寿泉堂クリニック 6回

（医療安全管理研修会）

令和6年 4月 2日	令和6年度新採用者医療安全研修会（3日） 「医療安全」	50人参加
5月 24日	医療安全管理研修会 「シリンジポンプ」	寿泉堂香久山病院 12人参加
7月 17日	医療安全管理研修会（～29日） 「患者誤認による重大事故対策を中心に」	584人参加
9月 11日	医療安全管理研修会 「医療現場における KYT の取組」	寿泉堂クリニック 73人参加
令和7年 1月 20日	医療安全管理研修会（～2月28日） 「事例からの振り返り」	572人参加
3月 3日	医療安全管理研修会 「みんなが主役の医療安全 対話するチームづくり」	寿泉堂クリニック 65人参加

- (6) 院内感染の予防と拡大防止を目的とした院内感染対策委員会（平成4年4月制定）を12回開催し、職員研修会を次の通り開催した。

(感染対策研修会)

令和6年 4月 2日	新採用者感染研修会 (3日) 「感染について」	49人参加
5月 13日	新採用者看護補助者研修会 (随時) 「感染対策の基本」	7人参加
6月 18日	感染対策研修会 (~7月 27日) 「麻疹について」「抗菌薬適正使用について」	666人参加
7月 29日	感染対策研修会 (~8月 1日) 「標準予防策について」「手洗いの実技」	寿泉堂クリニック 74人参加
7月 3日	感染対策研修会 (~25日) 「院内感染対策の基本」	寿泉堂香久山病院 280人参加
8月 14日	看護補助者研修会 (26日、28日) 「吐物処理」	41人参加
11月 19日	感染対策研修会 (~1月 11日) 「アンチバイオグラムと薬剤感受性について」 「抗菌薬適正使用について」	665人参加
11月 26日	COVID-19 発生シミュレーション机上訓練	在宅3部門 10人参加
令和7年 2月 6日	感染対策研修会 「手指衛生と個人防護具の必要性」「手洗いの実技」	寿泉堂クリニック 72人参加
2月 7日	感染対策研修会 (~28日) 「アウトブレイクについて」	寿泉堂香久山病院 264人参加

- (7) 医療ガス（診療の用に供する酸素、窒素、各種麻酔ガス等）設備の安全管理を図り患者の安全を確保するため、医療ガス安全委員会及び医療ガス設備取扱講習会を次の通り開催した。

(委員会)

寿泉堂総合病院	令和7年2月26日
寿泉堂クリニック	令和7年3月4日

(取扱講習会)

寿泉堂総合病院	令和6年4月6日
寿泉堂香久山病院	令和6年4月5日
寿泉堂クリニック	令和7年3月19日

- (8) 透析機器の安全管理を図り患者の安全を確保するため、医療機器取扱セミナーを次の通り開催した。

(医療機器取扱セミナー)

寿泉堂クリニック	令和6年7月17日
	令和6年12月3日

- (9) 防火避難訓練を次の通り実施した。

寿泉堂総合病院	令和6年	7月 26日	洪水時の避難確保訓練 (総合訓練)
		8月 31日	消防・防災訓練 (総合訓練)

寿泉堂香久山病院	令和7年	2月	14日	(総合訓練)
寿泉堂クリニック	令和6年	8月	28日	避難・消火・通報訓練(総合訓練)
		9月	2日	(透析センター 日本透析医会主催 災害時情報伝達訓練参加)
	令和7年	3月	25日	消防設備周知訓練(部分訓練)
さくら保育園				毎月第3木曜日

(10) 令和6年度の職員及び団体に対する外部からの表彰は、次の通りである。

福島県看護功労者表彰	看護功労知事感謝状 1人
福島県看護協会会長表彰	優良看護職員 2人
郡山市公衆衛生大会	優良看護師 2人 優良理学療法士 1人
郡山地方消防防火組合	定期表彰 1人
社会保険事業功労者表彰	年金事務所長感謝状(年金委員功労者) 1人
郡山市制施行100周年記念式典	郡山市教育功労者(学校教育) 1人
	委員会等各種委員 1人
	市勢発展に貢献(団体)

10. 主要記事

令和6年	4月	1日	新入職員入社式並びに辞令交付式
	4月	13日	看護学生を対象に「病院説明会」(5月25日)
	8月	20日	令和6年度永年勤続者表彰 45人 40年勤続表彰 1人 30年勤続表彰 5人 20年勤続表彰 15人 10年勤続表彰 24人
	8月	27日	ISOサーベイランス審査(～29日) (寿泉堂香久山病院)
	9月	10日	医療機能評価訪問審査(～12日) (寿泉堂総合病院)
	9月	28日	さくら保育園遠足
	9月	29日	第13回寿泉堂病院ゴルフ大会
	11月	27日	長期透析患者表彰式 受賞者3人 (寿泉堂クリニック)
	12月	14日	さくら保育園クリスマス会開催
	12月	23日	福島県による公益法人立入検査
	12月	24日	クリスマス会開催 (寿泉堂総合病院)
	12月	24日	クリスマスコンサート開催(～25日) (寿泉堂香久山病院)

- 令和 7 年
- 1 月 9 日 郡山市による令和 6 年度認可外保育所施設立入調査
(さくら保育園)
 - 1 月 30 日 東北厚生局による歯科医師臨床研修施設等実地調査
(寿泉堂総合病院)
 - 3 月 19 日 令和 6 年度医師・歯科医師臨床研修修了式
 - 3 月 24 日 定年退職者特別表彰式
 - 3 月 25 日 さくら保育園お別れ会